



【校訓】

自主開拓

【学校教育目標】健康で、豊かな心と知性をそなえ
すすんで自己を開発する生徒の育成



授業での受容的姿勢を評価！ ～県教委学校訪問より～

□■ 北教育事務所山本出張所長訪問 7月1日 ■□

1日、北教育事務所山本出張所長様をはじめ、5名が本校を訪れ、授業における生徒の様子を参観していただきました。

当日は、全校の授業を2時間にわたって参観し、「学習集団としてお互いを認め合う雰囲気がある。受容的姿勢で授業に臨んでいる」「『振り返り』の視点がシンプル、かつ有効的。うまく活用し、全教科で活用を広げたい」などとお褒めの言葉をいただきました。聞く態度が身に付いていることから、更に聞く姿勢を伸ばし、話す（表現する）力の育成につなげていきたいと考えています。



真剣に実験に取り組む（1年理科）



タブレットを活用して（2年英語）



この俳句は駄作・平凡？（3年国語）

■□ 第1回校内授業研究会（3年数学） 7月6日 □■

6日には、今年度第1回の校内授業研究会を行いました。当日の授業は、3年生数学であり、平方根の考え方のよさに気付き、その優れた点について説明することを主なねらいとして進められました。生徒は、身の回りにおける平方根の利用が予想される、①丸太から切り取る角材の大きさ、②陸上のトラック競技、③コピー用紙A判・B判、④黄金比・白銀比に関する課題について、タブレットなどを活用しながらグループによる話し合いに意欲的に臨み、それぞれの考えを紹介していました。

その後、参観した全教職員で「学習の見通しをもたせる授業展開」や「学び合いを充実させるための手立て」などについて、3つのグループに分かれワークショップ型で協議し、成果及び課題を明らかにしました。なお、2学期には第2回から第4回までの授業研究会を計画しています。



1:√2の比率を探る（左・タブレットを活用 右・コピー用紙で演習）



授業後のワークショップ型研究会